

令和5年 第15回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和5年11月16日

仙北市教育委員会

令和5年 第15回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和5年11月16日（木） 午後2時30分

2 場 所 西木総合開発センター 2階 集会室

3 出席委員

教育長	須田 喬
教育長職務代理者	坂本 佐穂
委員	橋本 勲
委員	細川 伸也
委員	田口 桂一郎

4 出席した事務局職員

教育部長	草薨 郁太郎
教育次長兼学校教育課長	福田 裕司
教育次長	松橋 幸太郎
教育次長兼角館公民館長	佐々木 信介
教育総務課長	湯澤 満
学校適正配置準備室長	若松 正輝
学校適正配置準備室参事	毛利 俊介
北浦教育文化研究所長	門脇 貴一郎
総合給食センター所長	大石 基
生涯学習課長	武藤 寛幸
中央公民館長	高倉 正人
田沢湖公民館長	佐藤 文恵
市民会館長兼田沢湖図書館長	信田 昌史
学習資料館・イベント交流館長	真崎 智明
平福記念美術館長	小松 亜希子

5 議事

(1) 議案審議

議案第22号 令和5年度仙北市一般会計補正予算の教育費について

議案第23号 令和6年度仙北市一般会計予算の教育費について

(2) 報告事項

報告第36号 仙北市教育行政報告について

6 審議の経過及び結果

(須田教育長)

ただいまから、令和5年第15回仙北市教育委員会定例会を開催いたします。
それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介します。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には齋藤課長補佐と上野課長補佐を任命します。署名員は、私と委員から田口委員を指名します。前回会議録の承認についてですが、定例会につきまして坂本教育長職務代理者におかれましては、会議が終了次第署名をいただきたいと思っております。

次に教育長挨拶ですけれども、本日、私の方からは3点お話をさせていただきます。

1点目が、様々な学校で行われている熟議についてです。コミュニティスクールを導入するにあたり、三浦社会教育主事を中心に、この熟議を大切にして取り組んできました。

10月23日に西明寺中学校で行われた熟議では、中学生のグループに地域の方が加わる形で、未来の地域を支えるために、自分がつけていきたい力をテーマに意見を出し合いました。地域の方も故郷を舞台に生きる先輩の目線で、子どもたちにつけてほしい力について、思いや願いを伝えます。地域の方の意見を受けて、自分自身が地域を支える一員であるという視点で、自分はどんな努力を重ねていけば良いかを考え、そしてそれを広げ、双方向の話し合いが出来ていました。

11月1日には角館中学校で、熟議が行われ「角館の子どもに願うこと」という題で、熟議が行われました。40人程の地域の方々に参加し、最初に校長から経緯説明を受けた後に、角館の子どもがどのように育ってほしいか意見交換をした後に、そのために学校や家庭、地域がどのようなことができるか話をしました。地域の方々が校長の経営を聞く機会はほとんどありません。また地域の方々も、学校に想いを伝える機会もそれほど多くありません。とても良い話し合いになりました。これを繰り返すことで地域も学校も元気になります。地域の方で子どもの学びを支え、元気な地域づくりにつなげることが可能となります。今後も様々な地域で熟議を行っていきます。

2点目が、10月26日に行われた大曲仙北教育研究大会と11月2日に行われた仙北市教育研究会研究大会についてです。26日は生保内小中、西明寺小中、桧木内小中を会場にそれぞれ実施されました。また2日には生保内中学校を会場に開催されました。仙教研のテーマはそれぞれですが、仙北市の大会では言語活動の充実に視点が当てられ、これに基づき授業が実施されました。両日とも子どもの人間関係が解放されており、学び合いが出来ていました。次年度以降も共感的な人間関係に基盤を置き、言語活動の充実を通して思考力や表現力、コミュニケーション能力等の資質能力を伸ばしていくつもりです。

3点目が、11月12日に仙北市民会館で行われた仙北市音楽交流会「音の泉」についてです。坂本委員からは、学校や市民の音楽活動充実のために、その演奏の場の提供を求められておりましたが、やっと実現の運びとなりました。当日、私は用事があって出席できませんでしたが、草薨部長と福田次長からも大変盛況であったと報告を受けております。次年度はさらに合唱を入れるなどして拡大をしていきたいと考えています。坂本委員におかれましては、当日の挨拶ありがとうございました。以上、3点報告でした。

次に教育長の報告についてであります。

－別紙資料にて報告－

次に、審議案件等に入ります。

(1) 議案審議、議案第22号令和5年度仙北市一般会計補正予算の教育費について、
お願いします。

(草薨教育部長)

それでは、教育費の補正予算につきまして、今回の予算要求の総括的なことを説明させていただきます。

今回の補正は、4月の人事異動等に伴うものと、人事院勧告等に基づく職員給与費の期末勤勉手当の0.1ヶ月の増分、及び給与表が変わったことなどによる職員給与費等の増減、

その他、これまで事業執行しての各事業費への必要な分の追加、及び不用見込み額の減額、あるいは歳入の確定による補正になっています。主な補正内容は、担当課長等から説明させていただきますが、職員給与費は、職員係が試算して入力しますので、今回の議案の中には記載されておりませんし、説明を割愛させていただきますので、どうかよろしく願います。

(湯澤教育総務課長)

教育総務課の方から、12月補正の説明をさせていただきます。議案綴の2ページをご覧ください。歳入の方ですけれども、教育総務費関係権限移譲事務費交付金ということで、3万3千円の歳入です。こちらの方は毎年数万円程ですけれども、権限移譲を受けた事務ということで、交付金を県の方からいただいております。内容の方は私立の幼稚園に関する手続きを仙北市教育委員会でやっております。この1年以上、特別そういった事例はありませんけれども、事例の有無に関わらず事務を、移譲を受けてやっているということで、今年度3万3千円の見込みということで、今回補正歳入を上げております。

続きまして、歳出ですけれども、育英奨学資金運営審議会費ということですが、こちらに記載の通り、貸与基準の見直しを検討していかなければいけないという話をしておりまして、教育委員の皆様からもそういうご提言がありまして、12月補正で、追加が必要となる委員さんの報酬・旅費を予算補正しまして、予算議決いただいた後に審議会を開いて、そこで現在の貸与基準の見直しを審議会で諮っていただきたいということで予算を計上しております。以上です。

(福田教育次長兼学校教育課長)

学校教育課から補正歳出予算について説明させていただきます。会計年度任用職員の雇用に関するものが大半となっておりますので、それ以外の大きなものを説明させていただきます。別冊資料4ページとなります。10款2項2目の一般教育振興総務費ですが、こちらは令和6年度小学校教科書改訂に伴う、教員使用の教科書と指導書の購入に充てるものです。この9月に使用する教科書が決まり、この時期の補正予算計上ということになります。学校教育課からは以上です。

(門脇北浦教育文化研究所長)

北浦教育文化研究所ですけれども、全て会計年度任用職員に関わる補正予算となっております。以上です。

(福田教育次長兼学校教育課長)

学校関係に関しましては、記載の通りとなっております。

(須田教育長)

議案第22号令和5年度仙北市一般会計補正予算教育費について、何かご質問ありませんか。もう少し説明ありますね。

(大石総合給食センター所長)

総合給食センターです。10ページご覧ください。給食センターから補正予算についてご説明いたします。歳出10款6項3目給食センター管理運営費について、当センターの管理栄養士が産休に入ることに伴い、代わりとなる栄養士の資格を有した会計年度任用職員を雇用するためにかかる報酬・共済費及び費用弁償を追加補正するものです。

(信田市民会館長兼田沢湖図書館長)

続きまして、仙北市民会館です。11ページになります。舞台運営費委託料になります。こちらにつきましては、来年1月から3月に見込まれる不足分の舞台技術者委託料。イベントのアナウンサーや音響や照明の方、舞台技術者をお願いしているものですから、そちらの不足分を計上しております。以上です。

(真崎学習資料館・イベント交流館長)

続きまして12ページ、学習資料館・イベント交流館からの補正です。歳入はありません。歳出、上から三つは、会計年度任用職員に関わる補正になります。下の二つにつきましては、子ども読書活動推進事業の中で、読書感想文コンクールにかかる賞状筆耕謝礼につきまして、当初報償費として計上していた予算の方を、筆耕翻訳料に振り替えるために1万円程補正しております。以上です。

(小松平福記念美術館長)

平福記念美術館です。13ページをご覧ください。記載の通りの補正となっております。

(須田教育長)

議案第22号について、何かご質問ご意見ありませんか。

よろしいでしょうか。それでは、議案第22号については承認といたします。なぜ当初でなくて補正なのかについて、しっかりと答弁出来るようによろしくお願いいたします。

それでは、次に入ります。議案第23号令和6年度仙北市一般会計予算の教育費についてお願いいたします。

(草薨教育部長)

それでは、当初予算の教育費分について、私から予算要求の総括的なことをご説明いたします。令和6年度当初予算の教育委員会分要求額は、職員部分の職員給与費が、まだ示されておりませんので、前年度と同額と仮定した場合、13億1,000万円程となります。前年度よりも、1,500万円ぐらいの増となります。令和6年度の予算要求に際しては、財政課から市全体の歳入歳出で、約15億円の不足が見込まれるため、総事業費から職員給与費などの義務的経費等を除いた部分での一般財源で、11.7%、前年度の一般財源からの削減を求められていました。教育委員会では、6億7,500万円の11.7%ですと、前年度から7,600万円程の削減が目標となっていました。委員会予算の最初の予算要求集計では、一般財源が削減目標よりも13億8,600万円程オーバーしていました。そのため各部署から、教育長・部課長・担当者も含めて、全体での打合せ、予算調整会議などを行い、予算のリストラ候補53項目を提出してもらい、約12億6,000万円委員会で削減した予算要求としています。削減したリストラ事業の主なものは、市民会館吊物電動化、冷温水器改修の12億2,200万円、学校の諸工事費、修繕費の圧縮分1,360万円。美術館照明LED化工事の見送り715万円などです。結果、一般財源ベースでは、示された令和6年度の削減目標を約1億4,500万円、令和5年度当初予算より6,900万円結果的にオーバーした予算要求になっています。全体額では、1,500万円程の増で、一般財源増の主な要因は、法令改正により特別支援員などの会計年度任用職員分の勤勉手当が、令和6年度から支給されること。昨年度の予算削減等によりまして、実施できなかった学校の修繕、諸工事が大きく増えること。国の交付金事業として2か年で実施している学校のトイレ洋式化工事費の財源に、今回の庁舎移転集約のために、合併特例債を財源として入れていないこと。物価高騰による各施設の光熱費の増などとなっています。主な事業内容につきましては、担当課長から説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

(湯澤教育総務課長)

資料の15ページをご覧ください。教育総務課です。主なもののみ説明させていただきます。15ページの一番下、育英奨学基金繰出金。ゲットバック制度、奨学資金償還免除分の繰出金ということで、令和6年度当初予算として、67件分1,088万2千円の予算要求となっております。あと、もう一つ、紙1枚の資料をご覧ください。債務負担行為見積書というものです。先ほど説明したのが、令和6年度分の予算となりますが、これから

説明するのは、債務負担行為見積書ということで、資料によりますと令和7年度分として、1,101万2千円の限度額となっておりますが、こちらの方は3月の議会において、令和7年度分として、この1,101万2千円の予算の負担行為の承認をいただくことの見積書になっています。通常であれば令和7年度分ですので、1年後に予算要求する形となることですが、1年早く予算を確保する理由としましては、毎年4月に申請を受付けて1年後にその免除が確定することで、前もって予算を確保した上で申請を受付けるために、債務負担行為の承認をいただくために今回、令和7年度分を当初予算関係で、計上させていただきます。説明は以上です。

(若松学校適正配置準備室長)

続きまして、学校適正配置準備室です。資料は、16ページです。歳出予算、二つの事業です。はじめに学校適正配置関係事業費ですが、これは来年度、学校適正配置計画の素案の策定に向けた意見交換を行うための事業費となります。そしてもう一つ、角館小学校・白岩小学校統合関係事業費として129万7千円。今日の会議のその他のところで、後ほど報告いたしますが、令和7年3月をもって、白岩小学校が閉校する見込みとなっております。閉校式の実施及び地域主体で実施する閉校記念事業への補助を行うものです。尚、打ち合わせをしまして、閉校記念事業への補助金は100万円を予定するものです。以上です。

(福田教育次長兼学校教育課長)

学校教育課から、当初予算歳出、新規のものについて説明いたします。資料19ページとなります。10款1項4目、スクールバス購入事業費。こちらは令和7年度、角館小学校と白岩小学校の統合を見据え、白岩小学区児童送迎のためのスクールバス購入に充てるためのものです。それ以外は、新規はなく継続のものとなります。以上です。

(門脇北浦教育文化研究所長)

北浦教育文化研究所です。ほぼ例年通りになりますけれども、ここに記載されていない、逆に無くなっているものに関して説明させていただきます。一つはJFA夢の教室がなくなっております。それから、情報モラル教室の謝礼金、こちらの方がなくなっております。

(大石総合給食センター所長)

給食センターです。23ページをご覧ください。主なものを説明させていただきます。はじめに歳入の教育費委託金339万5千円についてですが、こちらは、大曲支援学校せんぼく校に提供している給食の管理に係る経費を県から支出していただくものです。続きまして、歳入の給食収入と、歳出の給食材料費に関係するところですが、来年度、物価高騰による給食費の値上げを検討しており、値上げ幅は5%と考えています。児童生徒につきましては、物価高騰分を市から補填していただくよう予算計上しております。また、せんぼく校の市外から通っている児童生徒と教職員、給食センター職員は、値上げの対象となります。説明は以上です。

(武藤生涯学習課長)

生涯学習課です。資料の24ページと25ページになります。新規の事業等はありません。要求額が今年度と比べると大きくなる場所が一つありまして、それは、25ページになりますけれども、勤労青少年ホームの管理運営費です。勤労青少年ホームのテニスコートが、今年度、寄附行為で2面ある内の1面が使用できるようになっていまして、今も使用されています。来年度、もう1面も寄附行為で使用できるようになる予定でして、それに伴いまして、照明設備をより使いやすいものにするために、例年に比べて約500万円増額の要求内容となっております。以上です。

(高倉中央公民館長)

中央公民館です。議案綴の26ページをご覧ください。要求概要につきましては、例年通りとなりました。歳入につきましては、中央公民館と桧木内、角館東地区公民館の使用料の他、雑入としまして、印刷機使用料等を見込んでいます。歳出につきましては、10款5項1目社会教育総務費ですけれども、花いっぱい運動推進事業費としまして、希望する集落・団体等へのマリーゴールドの花苗配布を予定しております。それから、10款5項2目では、公民館の管理運営と活動推進に係る事業費を計上している他、県、それから仙北地域公民館連合会への負担金、生保内節盆踊りと文化祭開催時の補助金を計上しております。中央公民館からは以上となります。

(佐々木教育次長兼角館公民館長)

角館公民館(小野崎家)です。27ページをご覧ください。新規事業はございません。要求額といたしましては、経常経費がそのまま。前年比、約200万円程下回っております。主な計上としては以上です。

(信田市民会館長兼田沢湖図書館長)

仙北市民会館です。28ページになります。昨年と変わりありませんが、新たな事業、経費といたしまして、来年度、仙北市民会館に地域力創造アドバイザーという方を招聘いたしまして、地域独自の魅力や価値を向上させるということで、予算を上げております。こちら地域力創造アドバイザーというのは、総務省で行っているものでして、例えば市民会館の改修であるとか、イベントの内容であるとか、そういうところに、アドバイザーとして意見をいただくというものの経費となっております。

続きまして、29ページ田沢湖図書館です。こちらは、新たに設けて経費を上げているところはありません。以上となります。

(真崎学習資料館・イベント交流館長)

続きまして、30ページ学習資料館・イベント交流館の当初予算について説明させていただきます。事業につきまして大幅な見直しを行いまして、縮小ですとか廃止等で対応し、予算の削減を行っております。新しい事業としましては、高井有一文庫事業費としまして、スキャナーを新規購入させていただくことになりました。以上です。

(小松平福記念美術館長)

平福記念美術館です。31ページをご覧ください。前年度同様の予算計上、歳入・歳出共に、同様の計上となっております。以上です。

(須田教育長)

それでは、議案第23号令和6年度仙北市一般会計予算の教育費について、何かご質問ご意見ありませんか。

(田口委員)

30ページの学習資料館・イベント交流館の予算概要について、来年度、読書感想文コンクールが事業廃止になっていきますけれども、これはどういった経緯で廃止になったか教えていただけませんか。

(松橋教育次長)

はい、館長に代わりまして、私がお答えします。読書感想文コンクールは、そもそも10回を目安として始めた事業でありまして、今回で12回ですけれども、既に10回をオーバーして開催しております。それと現場の教職員の負担が大きくなってきている話を聞いておりまして、もうそろそろ終わりということで、読書感想文コンクールは今年度をもって廃止しようということですので。以上です。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。その他ありますか。

(橋本委員)

トイレの洋式化についてですけれども、この予算が認められれば、市内全ての小中学校のトイレは、全て洋式化が終わるということでしょうか。それと、綴の22ページですけれども、プログラミング学習研究事業の講師謝礼ですけれども、あきたキッズプログラミングアワードで優勝とか入賞とか新聞にあります。特に西明寺小学校と神代小学校がよく新聞に載るのですけれども、全市内の小中学校で、この事業に取り組んで、優秀な成績を収めているのは講師の方の指導とかそういうものなのではないでしょうか。

花いっぱい運動に関連してですけれども、一斉植栽はなくなったんです。今年は確かシルバー人材センターの方が、道路端の草刈を3回程やっていたようですが、令和6年度その予算はどこから出るのかということをお聞きしたいと思います。

(須田教育長)

学校教育課からお願いします。

(福田教育次長兼学校教育課長)

はい、トイレの洋式化に関しましては、60%洋式化を進めるということを目処にして進めています。令和5年度、令和6年度の2カ年で、全ての学校が60%を超えるということで計画しており、来年度終了しますと全ての学校において、60%クリアすることになっております。因みに3校は既に改修しなくても90%超えている学校でありまして、今年度と来年度で、8校改修事業を行うということになっております。以上です。

(高倉中央公民館長)

国道105号の道路花壇施設整備事業に関しまして、同じように、中央公民館管理運営費10款5項2目の方で、委託料の一貫としまして、来年度の予算要求しております。

(須田教育長)

その他ありますか。

(門脇北浦教育文化研究所長)

先ほどの22ページのプログラミング学習研究事業費のことについて、お答えいたします。この講師謝礼がプログラミングアワードの成績に結び付いているのだろうかというところですが、一概には言えないかと捉えております。と言いますのは、プログラミングという概念が非常に広義で、実際に講師謝礼を払っている方は、プログラミングアワードに直接関わる方ではありません。ドローンの使用等に関して、講師をしていただくということに関しての謝礼ですので、間接的に関係があるのかなというような捉え方です。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。その他ありますか。

－質問・意見なし－

議案第23号については承認といたします。

それでは、(2)報告事項に入ります。報告第36号仙北市教育行政報告について、お願いいたします。

(草薨教育部長)

それでは、仙北市教育行政報告について、11月に開催される令和5年第5回仙北市議会定例会教育行政報告の内容を説明いたします。34ページからになります。学校適正配置準備室からは1点です。角館小学校と白岩小学校の統合に向けた準備状況についてです。第3回統合準備委員会が開催され、統合の時期は令和7年4月とすることで意見がまとまりました。また全ての協議を、来年1月を目処に整え、準備委員会から報告書として提出していただき、教育委員会では報告を踏まえ、統合に関わる手続きや準備を進めたいと考えています。

学校教育課からは、9点です。

WROJAPAN2023についてです。子どもたちがロボットを製作し、自動制御する技術を競う国際ロボット競技会が、8月8日横手清陵学院高等学校で県大会が開催され、西明寺小学校のチームが第1位となり、8月26日の東京での決勝大会に出場しました。

ジャベリックスロー秋田県選手選考競技会について。ジャベリックスローは、ジャベリックという器具を投げる競技で、高校以上のやり投げに通じるもので、U16の県競技会が、8月26日に開催され、女子の神代中学校3年石川才稀さんが優勝し、10月22日に愛媛県での大会に出場しました。

高円宮杯第75回全日本中学校英語弁論大会秋田県大会について、県大会が9月12日に開催され、暗唱の部で神代中学校2年小原理子さんが最優秀賞を受賞し、青森県での東北大会への出場権を獲得しました。

大曲仙北中学校新人総合体育大会についてです。9月に開催されました大会での主な結果について報告いたします。

秋田県学校関係緑化コンクールについて「学校環境緑化の部」で神代小学校が、秋田県知事賞を受賞し、全日本コンクールへの推薦も決定しました。

あきたキッズプログラミングアワードについて、10月22日に秋田市で開催され、西明寺小学校6年傳農紅雪さんが、アイデア部門で優勝しました。

大曲仙北教育研究会について、10月26日、神代小学校・中学校などを会場に特別活動研究大会、進路指導研究大会、学校図書館教育研究大会が開催され、タブレットを活用して生き生きと活躍する子どもの姿が見られ、参加した教員からも良い評価を得たと報告いたします。

マーチングバンドにおける児童の活躍について、11月3日に開催されたマーチングバンド・バトントワリング東北大会で、角館小学校金管バンド「ドリームハーモニー」が金賞を受賞し、12月9日にさいたま市で開催される全国大会に出場します。

秋田県中学校秋季体育大会について、11月に開催された秋田県中学校秋季体育大会柔道競技の主な結果を報告します。

北浦教育文化研究所からは、1点です。令和5年度仙北市教育研究会研究大会について、11月2日に仙北市教育研究会研究大会が、生保内の小中学校で開催され、充実した研究大会になったことを報告します。

生涯学習課からは1点。東北地区社会教育委員連絡協議会表彰について、10月13日、東北地区社会教育研究大会が開催され、社会教育委員の藤村榮一さんが、東北地区社会教育委員連絡協議会表彰を受賞されました。

公民館からは2点。仙北市文化祭について、10月から11月にかけて角館・田沢湖・西木の各地区で開催され、千人程が来場し、芸術・文化に親しんでいました。「2023角館公民館伝統芸能ミニフェス秋の陣」について、11月4日に開催し約200人の方々に秋田おぼこの手踊りなどを楽しんでいただきました。

学習資料館・イベント交流館からは、1点です。展示会について、新潮社記念文学館で9月から「角館と民藝」などの企画展を開催したことなどを報告します。

平福記念美術館からは、2点です。企画展「第3回はんぼの会日本画展」について10月から「第3回はんぼの会日本画展」を開催し、1,192人の入館者に作品50点などを観ていただきました。教育行政報告の概要は以上です。

(須田教育長)

何か報告について、ご質問ありますか。

(橋本委員)

35ページの「第75回全日本中学校英語弁論大会秋田県大会について」ですけれども、「小原理子さんが青森県で開催される東北大会への出場が決定しました。」で終わっていますけれども、確か11月2日に東北大会が行われて、その結果入賞しているようであれば、その結果を入賞が無くても「東北大会へ出場しました。」というふうに書いた方がよいのではないかなと思います。

(草薨教育部長)

そうですね、大変失礼しました。ありがとうございます。

(田口委員)

内容についてというよりは、北浦教育文化研究所の仙北市教育研究大会についてですけれども、教育長の行政報告でもあいさつでも触れていましたけれども、私もこの会に参加させていただきまして、授業参観をさせていただきました。その時の感想を簡単に申し上げたいと思います。テーマは、教育長の熱い思いもあって共感できる集団作りを土台とした学び合い、ということを強調して、ベクトルをひとつにして取り組んできている訳ですけれども、生保内小学校の授業、それから中学校の授業も、どちらも非常に学級の雰囲気が良いので授業に集中して、学級担任がこれまで共感的な集団作りを進めてきた積み重ねが見える雰囲気を感じることが出来ましたし、非常に自由活発な意見交換が、どのクラスでもされている様子を見て、「先生方が頑張っているな」「子どもたちも一生懸命、それに立ち向かって真剣に学習に参加しているな」と非常にうれしく思いました。昨日の、美郷・大仙との教育委員会連絡会で協議の話題に「ICT活用」がありましたけれども、その協議の中でパソコンの授業の活用と秋田県が誇れる探究的な秋田型の授業と相反する面があるのではないかというニュアンスの意見があり、その中には、課題になっている探究、子どもたちの学び合い、話し合いが重視される訳ですけれども、その前にICTがうまく効果的に活用できているのか、活用するのが中々両立するのが難しいような課題も、昨日の話し合いの中に出されましたけれども、生保内中学校の社会科の授業で私が素晴らしいなと思ったのは、秋田型の探究授業の中に無理なくICTが活用されて、しかも無理なくというよりは効果的にパソコン、ICTが活用された授業づくりが進められている先進的な、非常に模範となるような授業が提示されて、それを参観された先生方もICTの活用の効果、こんなことができるんだ、こんなことで秋田型の話し合いを重視した授業構成が出来るんだ、ということを見ることができて、仙北市内のICT活用に関するパワーアップが出来たのではないかな。そういう意味で非常に意義のある大きな成果があった研究大会だったという感想を持ちました。本当にありがとうございました。

それから、もう1点。36ページのこれ間違いだと思いますけれども 大曲仙北教育研究会秋季体育大会とありますが、体育なくても良いのではないかな。

(須田教育長)

そうですね。門脇所長、今言った内容を長くなっても構いませんので、もう2行ぐらい増やして成果を入れて下さい。37ページの研究大会のところにも今の田口委員の熱き想いを少し加えて下さい。

(坂本教育長職務代理者)

私も報告とはちょっと関係ないのですが、ドリームハーモニーの全国大会の件で、2年前にも全国大会に出場した際に、市のホームページに動画をアップしていただいたと記憶しております。この前の「音の泉」でも、子どもたち「マーチングの姿はカッコ良いですよ。」と何度も言っていました。おそらく市民の皆さんに見てほしいのだと思います。学校のホームページ、それから市のページ等にも動画がアップ出来ればありがたいと思います。後、高円宮杯のことについても、可能であればこの動画等も見られれば良いなと思

ます。ただ、そこは個人の顔も映ることなので、検討をお願いできればと思います。

(須田教育長)

市の専門官に頼んで、よろしくをお願いします。その他ありませんか。無ければ、その他に入ります。

いじめ不登校対策についてお願いします。

(門脇北浦教育文化研究所長)

10月のいじめの状況について報告いたします。小学校2件、中学校1件です。

次に、不登校の児童生徒についてです。小学生5名、中学生22名。合計27名となっております。

以上、10月のいじめ不登校の報告です。

(須田教育長)

今の報告で何かご質問ご意見ありますか。よろしいでしょうか。

次に教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてお願いします。

(湯澤教育総務課長)

別冊の資料、9月21日開催の会議録をご覧ください。

—資料により説明—

誤字脱字等ありましたら、私の方まで教えて下さるようお願いいたします。以上です。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。次に、学校適正配置準備室からの報告についてお願いします。

(若松学校適正配置準備室長)

学校適正配置準備室からの報告については、角館小学校と白岩小学校の統合準備状況についてです。お手元の資料をご覧ください。これは11月1日に統合学区区域、角館小と白岩小の区域ということで、角館町地域に全戸配布したものになります。内容については、統合準備委員会は、中途になりますけれどもその経過についてです。これまで3回開催しまして、その協議案件と話し合いの内容について記載の通りです。協議案件は、全部で九つありまして、それぞれについて今の状況をお伝えしております。大きなものとして、まず①の統合の時期、これは第3回の会議の中で、令和7年4月ということで意見がまとまっています。その他、合意したのが、②の校舎の位置。③の閉開校の取扱い。④の校名・校章他、これについても合意しています。後、⑧の体育着と学用品についても確認しました。その他大きなものでは、通学体制というものがありますけれども、今のところスクールバスを運行させるということで、その運行計画について、話し合いをしているところです。この後1月には第4回目、これを最終回と考えていまして、準備委員会を開催予定です。それまでには全て、この九つの協議事項、確認をしまして、報告書という形にまとめてもらい、教育委員会に提出していただく予定となっております。提出していただいた報告書に基づき、教育委員会でも最終的な判断を行いまして、統合に向けた準備、手続きを進めていきたいと思っています。以上です。

(須田教育長)

今の件について、何かご質問ご意見ありますか。よろしいでしょうか。

では、その他のその他、お願いします。

(湯澤教育総務課長)

私の方から、来月の定例会の日程についてお話をさせていただきます。通常であれば、第3木曜日になりますけれども、教育委員のリモート研修等が入っておりますし、議会の関係もありまして、先ほどの教育長事務報告の12月の予定表にも記載しておりますけれども、12月18日、月曜日になりますけれども、出来ればその日に開催させていただき

たいと思っておりますので、皆様のご予定の方、後で確認していただければと思います。どうかよろしく願いいたします。時間の方は午後2時から予定しております。協議会は、12月は無しということで、午後2時からお願いしたいと思っております。以上です。

(須田教育長)

ありがとうございました。何かありますか。

(坂本教育長職務代理者)

今日の会議と全く脈絡のない質問なんですけれども、おそらく今日回答は出ないと思いますが、市民の方から聞かれたことがありまして、この建物、西木総合開発センターという名前と、中央公民館との関係についてですけれども、9月に、ここを会場に県の主催で開催された藤田ゆうみんさんをお迎えしての子育てイベントが、西木総合開発センターが会場となっていたと。本人たちが、会場が分からなくてここに電話をしたら「中央公民館です。」って出たので、間違ったと思ったと。まずそれが当日で、それで講師の方が、ちょっとドタバタするということがありました。それと先日文化祭も「総合開発センターってどこ？」と聞かれたんです。ここは中央公民館です。と下に書いてあるけれども、こういう資料には、総合開発センターになっているということで、そこを市民の方に周知することが、今後必要ではないかと思われましたので、質問させていただきます。

(須田教育長)

中央公民館長、来月しっかりここで説明できるようにしておいて下さい。

(坂本教育長職務代理者)

よろしく願います。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。

それでは、これで令和5年第15回仙北市教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。

(閉会宣言：午後3時32分)